

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～「命の使い方」って？・・・「5つの誓い」腰塚勇人さん～

2002年3月1日。

中学校の体育教師だったその男性はスキーで大転倒し、首を骨折。奇跡的に一命はとりとめたものの、全身麻痺になるという想像もしなかった事態に……。その男性は考えました。

「生きたい……。でも、生き方がわからない……。」

全身麻痺になってしまった今、どう生きたらいいかがわからなくなったのです。

しかし、家族は言ってくれた。

「どんなことがあっても一緒にいるよ」

そして、親身になって寄り添ってくれた看護師さん。復帰を信じて待っていてくれた生徒たち。

いつしか、その男性は、麻痺した手で、入院中にこんな言葉を書き綴っていたそうです。

「助けてって言っていますか、私は言いたい」

「弱虫 強虫 どっちも私」

「ありがとう おかげさま。なかなか言っていない……」

「隣で喜んでくれる人 泣いてくれる人 怒ってくれる人 みなさん私の宝物」

そして、ある日、その男性の中でこんな思いが湧き上がってきたのです。

口は人を励ます言葉や感謝の言葉を使うために使おう。

耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

目は人のよいところを見るために使おう。

手足は人を助けるために使おう。

心は人の痛みがわかるために使おう。

これが……………「命の使い方」、「5つの誓い」です。



この男性の名前は、腰塚勇人さん。

このときの体験が、『命の授業』（ダイヤモンド社）として本になっています。

麻痺で震える右手を「この右手は宝物なんです」と言った腰塚さん。そして、左手を開いたり閉じたりしながら・・・こう続けます。

「左手はここまで戻りました。でも、それがあたりまえじゃないということ、この右手が教えてくれるんです。こうやって左手が普通に動くことがどれだけ恵まれていることなのか、それをいつも思い出させてくれる、忘れないようにさせてくれるのが、この右手なんです。

だから、不自由なこともあるけれど・・・この右手は僕の宝物なんです！」・・・

「現在」を英語で「present」（プレゼント）といいます。

(pre-sent)とは、前もって(pre)送られた(sent)という意味です。

目が見えること。手が動くこと。歩けること。息ができること。朝、目が覚めたこと。

最高のプレゼントって、すでに前もって君たちに贈られているんです。

さて・・・中間審査が終わりました。自分の現在位置を知ることができましたか？

それでは・・・ここから県高は・・・文化祭に向けて本格的にスタートです。

（文部科学大臣からコロナ禍に負けずに、学校生活を充実させようとしている君たちへのメッセージが届きました。裏面に載せています。）

